



# 松陵健児

発行：2026年9月1日 能代高校東京同窓会 発行責任者：吉田真由美 編集：会報誌グループ 題字：山田晃一(第42期) 印刷：株式会社毎栄



2025年10月10日、能代高校創立百周年の記念式典が開催されました。校舎前では在校生が案内役を務めていました(写真①)。自在の像を横目に体育館へ。式典には鈴木秋田県知事以下の来賓、関係者、在校生あわせて約700名が出席。記念講演として元阪急ブレーブス、サブマリン投法で知られる山田久志さん(第37期)が登壇し、硬式野球部OBの伊藤康夫さんと田口俊成さん(ともに第55期)から山田さんへの質疑応答のかたちで進められました(写真②)。夜にはプラザ都で祝賀会が開かれました。③は記念誌の表紙。 報告と写真／石井鉄美(第50期)

## 2026年度(令和8年度)能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】2026年10月3日(土)

□受付 12:00～

□総会 12:20～

□講演会 13:00～

講師 鷺谷香明さん(第54期)  
華道家

□懇親会 13:30～16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

【年会費】2,000円

【懇親会費】8,000円

\*お振込、または当日受付にて受領します。

\*若者特例があります(5ページを参照ください)。

【出欠】

\*QRコードを読み込んで、申し込み  
フォームから送信してください。

ホームページからも送信できます。

<https://shoryokenji.com>

\*ハガキが同封されている場合は9月23日(水)  
までに投函ください。



〈総会・懇親会の詳細は本誌5ページに掲載しています。〉

## 同窓会で新しい発見、出会いを

東京同窓会会長 第46期 吉田真由美

能代高校は昨年創立百周年を迎えましたが、今年は1976(昭和51)年に東京同窓会が本校同窓会の東京支部として発足してからちょうど50年、独立した組織の「東京同窓会」となってからは45年になります。



それを記念して、今回の会報では東京同窓会のあゆみを振り返る企画を掲載いたしました。実際には70年ほど前から有志の方々が活動されていたようで、今となっては調べきれないところもありますが、これまでの会報を元にまとめてみました(4ページ)。

1986年からは講演会の記録も残っています。総会に合わせて講演会を開くことも大事にされてきたようです。開催や講師名が不明な年もありますが、わかるかぎり掲載しました。

同窓生による講師の面々を見ると、最先端の技術や研究からスポーツ、文化、芸術、ビジネス、地域貢献まで、本当に幅広いことに驚かされます。この多彩さこそが、私たち能代高校の特長、持ち味を象徴しているように思われます。

私は20年近く総会に参加してきましたが、講演会では普段の生活で触れることのない新しい世界を知ることができたり、初めて聴く音楽ジャンルの生演奏を楽しんだり、いつも得がたい経験をしています。

同窓会というと、旧交を温めたり昔話で盛り上がったというイメージが強いかもしれませんが、東京同窓会はそれだけではない、新しい発見や出会いの場でもあるということを、改めてお伝えしておきたいと思います。

この10月の総会で2期4年の任期が満了し、会長を退任いたします。この間、さまざまにサポートしてくださった幹事さんたちをはじめ、東京同窓会に心を寄せてくださった皆さま方に、心から感謝申し上げます。引き続き東京同窓会をよろしく願いいたします。

## 受け継がれる伝統の志、そして未来への跳躍

能代高等学校長 第56期 藤原孝一

東京同窓会の皆様には、日頃より母校の教育活動に対して多大なるご支援と温かいご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。



この4月より、校長として赴任しました藤原と申します。母校での勤務は17年ぶりとなりますが、今もなお、諸先輩方から連綿と受け継がれてきた「至誠力行」の精神は、日々の教育活動の中に息づいております。生徒たちは高い目標を掲げ、互いに切磋琢磨し、「文武両道」の校是の下、日々の学習はもちろん、部活動や行事に全力で打ち込んでいます。校舎に漂う凛とした空気感の中、生徒たちは「大きな夢と高い志」を抱き、自己の確立に向けて充実した日々を過ごしています。

今年度は、139名の新入生を迎え、全校生徒数433名でスタートいたしました。ここまでの生徒たちの活躍を一部ご紹介いたします(7月15日現在)。

運動部では、体操部男女、柔道部男女、空手部女子がインターハイへの出場権を獲得いたしました。文化部では、放送部が朗読部門で全国NHK杯高校放送コンテスト、無線部が全国ARDF競技大会、弁論部が本県で行われる全国高校総合文化祭に出場いたします。さらに、結果の如何に関わらず、選手たちの立ち振る舞いの素晴らしさが評価されております。地域貢献活動への積極的な参加など、校内外での能高生の活躍は誠に頼もしく、心強く感じております。

先輩方が築かれた栄光の歴史を次の世代へと引き継ぎ、さらに輝かしいものとしていくために、教職員一同、情熱と使命感を持って教育活動に邁進する所存です。同窓会の皆様におかれましては、今後とも生徒たちの挑戦を温かく見守っていただくとともに、母校への変わらぬご愛顧と力強い後援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、同窓会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝並びにご多幸を心より祈念申し上げます。挨拶といたします。

## 至誠の風よ未来へ届け

能代高校同窓会長 第39期 山本達行

東京同窓会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。各々の道で、自分らしく活躍されておりますことを祈っております。

ご承知のように、母校は昨年、創立百周年記念式典を開催し、多くの同窓生のご協力のもと、盛大にこの大きな節目をお祝いすることができました。東京同窓会の皆様からも一方ならぬご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

この式典を含めた各種記念事業の中で、私は貴重な体験をさせてもらいました。それは、各所で同窓生から発せられる言葉に、それぞれの人生にとって能代高校の3年間で非常に大きな意味を持ったこと、とりわけ部活動がまさに人間教育の場であったと感じ、私は強い感銘を受けたのです。個性が強く、自由奔放に見えた昔の先生たちが共通に持つ人間くささと懐の深さ、そして強い意志で続けられてきた伝統行事や部活動の中で私たちは育て



られてきたことを、改めて思い知りました。

またそれは年配者だけではなく、比較的若い卒業生にも引き継がれていることを、百周年記念誌「松陵百年」の中に見いだし、伝統の持つ教育的価値を再確認しました。歴代生徒会長、応援団長、部活動で活躍した若い同窓生の文章の中に、かつて自分も感じていた懐かしい「匂い」を見いだし、それが能代高校の永年にわたり紡いできた文化なのだと得心しました。特に校訓「至誠力行」を自分自身の生きる道標として大切に、先行き不透明な未来に向かおうとする若い同窓生の姿に、母校の核がしっかりと受け継がれていることを確信しました。

折しも、この春に誕生した鍋谷暁能代市長をはじめ、藤里町長、八峰町長、三種町長など、近隣の全ての首長が同窓生となりました。人口減少の荒波をもろに受け課題先進地域となっている能代山本に、「至誠」の風で希望の火をともし、力を合わせて諸問題の解決に「力行」してもらいたいと願っています。

是非、東京・関東からもエールをお願いします。

## 能代高校東京同窓会 組織図(2026年7月1日現在)

|               |           |                |               |               |          |
|---------------|-----------|----------------|---------------|---------------|----------|
| 会長(46 吉田真由美)  |           |                | 幹事長(50 石井 鉄美) |               |          |
| 副会長(46 秋林 泰樹) |           | 副会長(50 石井 鉄美)※ |               | 副会長(47 野村 一哉) |          |
| 総務グループ        |           | 財務グループ         |               | 総会グループ        |          |
| 49 片谷 浩之      | 46 秋林 泰樹※ | 66 高橋 弘志       | 50 石井 鉄美※     | 53 梶原 禎子      | 55 淡路 和子 |
| 50 伊川 千良※     | 50 佐藤 孝也  | 41 小河 範也       | 50 伊川 千良      | 45 山谷めぐみ      | 43 須藤 正喜 |
| 53 梶原 禎子※     | 54 佐藤 篤規  | 49 今野 泰則       | 66 高橋 弘志※     | 62 大高 忠勉      | 51 河田 康史 |
|               | 78 今西 拓磨  | 49 近藤 敏仁       | 68 幸坂 智子      | 68 幸坂 智子※     | 55 嶋田久美子 |
|               |           | 54 佐藤 篤規※      | 68 大塚さと子※     | 68 大塚さと子※     | 68 大塚さと子 |
|               |           |                | 78 今西 拓磨※     | 77 山崎 愛実      |          |

数字は通算卒業期 ■ 網掛けはグループ・リーダー ※は兼任

|     |    |       |
|-----|----|-------|
| 顧問  | 39 | 菅原 渉  |
| 監査役 | 44 | 庄内 俊憲 |
| 監査役 | 45 | 三浦 洋  |

## ■他の各期幹事

【29期】宮腰興紀【31期】馬場富男【32期】高谷誠【34期】西川廣正【35期】干場革治【37期】若狭秀巳【39期】大塚進、諸沢隆一【40期】小林哲【45期】真崎裕【46期】石井喬【49期】田村盛仁【53期】工藤勉【58期】加藤一敏【67期】小野立、滝田祐作

## 能代高校東京同窓会のあゆみ

能代高校東京同窓会は約70年前から有志が活動を始め、1976年に本校同窓会の東京支部として設立されました。それから50年になるのを記念して、これまでのあゆみをまとめました。

資料として会報を参照しましたが、補足・訂正など情報をお持ちの方は事務局か幹事までお知らせください。

|      |      |                                                               |
|------|------|---------------------------------------------------------------|
| 1957 | 昭和32 | 後藤典二(4期)氏など有志が同窓会東京支部の形で活動を始める                                |
| 1966 | 昭和41 | 毎年10月に総会を開催し、同窓生の親睦を図ることを決定<br>総会を茗溪会館(文京区)で開催(1995年までこの会場)   |
| 1976 | 昭和51 | 能代高校同窓会東京支部として正式に発足                                           |
| 1981 | 昭和56 | 同窓会本部と連携しつつ主体的に活動する独立の組織「能代高校東京同窓会」となる                        |
| 1987 | 昭和62 | 会報第1号発行                                                       |
| 1989 | 平成 元 | 同窓会本部より東京同窓会に会旗が贈呈される                                         |
| 1991 | 平成 3 | 東京同窓会10周年記念総会、新卒業者歓迎会を兼ねる                                     |
| 1996 | 平成 8 | 総会を学士会館(千代田区)で開催(2000年までこの会場)                                 |
| 1998 | 平成10 | 会報第8号発行(以後、毎年1回発行)                                            |
| 2000 | 平成12 | ホームページ開設                                                      |
| 2001 | 平成13 | 総会を日本閣(中野区)で開催                                                |
| 2002 | 平成14 | 総会をアルカディア市ヶ谷(千代田区)で開催(以後この会場)<br>会報(第12号)のタイトルを「奮え松陵、我が健児」とする |
| 2010 | 平成22 | 会報(第20号)をリニューアルし、タイトルを「松陵健児」に変更                               |
| 2020 | 令和 2 | 新型コロナウイルス感染防止のため総会中止(翌年も中止)                                   |
| 2024 | 令和 6 | ホームページをリニューアル                                                 |

### 歴代会長

|         |           |         |           |         |            |
|---------|-----------|---------|-----------|---------|------------|
| 1 ?～    | 腰山巳代治(1期) | 4 1999～ | 畠豊彦(25期)  | 7 2015～ | 石井喬(46期)   |
| 2 1976～ | 板倉創造(3期)  | 5 2005～ | 太田勝治(29期) | 8 2017～ | 三浦洋(45期)   |
| 3 1991～ | 小林肇(19期)  | 6 2011～ | 菅原渉(39期)  | 9 2022～ | 吉田真由美(46期) |

### 講演会の記録

| 開催年  | 講師(肩書は講演当時のもの)                                                              | 「演題」                            |
|------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 1986 | 山田敬三(大館出身のマラソン選手、山田敬蔵?)                                                     |                                 |
| 1988 | 斎藤忠生(33期 テノール歌手)                                                            | 「人生に歌あり」                        |
| 1989 | 山田久志(37期 野球解説者)                                                             |                                 |
| 1991 | 高橋正太郎(9期 元駐フィンランド大使)                                                        | 「外から見た日本」                       |
| 1992 | 鈴木裕美子(49期 オリンピック自転車競技選手)                                                    | 「南欧の炎天下を銀輪で疾駆して」                |
| 1993 | 渡辺博栄(43期 気象予報士)                                                             | 「天気予報と日常生活」                     |
| 1994 | 関根市男(29期 カイロプラクター)                                                          | 「熟年からの健康」                       |
| 2003 | 加藤正人(42期 脚本家)                                                               |                                 |
| 2004 | 納谷学(49期 建築家)、納谷新(54期 建築家)                                                   |                                 |
| 2005 | 菅原貞敬(27期 バレーボール指導者、オリンピック銅メダリスト)                                            |                                 |
| 2006 | 林家たい平(ゲスト 落語家) ライブショー                                                       |                                 |
| 2007 | 若松正雄(27期 シダックス副会長)                                                          | 「時代の変化とともに歩んだ映画屋、そしてカラオケ屋」      |
| 2008 | 泉牧子(48期 JA秋田やまもと)                                                           | 「JA(ジャ)ンビニ立ち上げの裏話～本当は怖い食の話～」    |
| 2009 | 五代儀彦秀(43期 音楽プロデューサー)、松尾一彦(43期 ミュージシャン)、宮城伸一郎(44期 ミュージシャン)、市川善光(44期 ミュージシャン) | 「樽子山が生んだスーパーアーティスト」トーク&ライブ      |
| 2010 | 大塚晃(46期 DOWAエレクトロニクス社長)                                                     | 「DOWAが取り組む資源循環型社会の実現へ」          |
| 2011 | 工藤栄(51期 第51次南極越冬隊長)                                                         | 「我々の南極越冬」                       |
| 2012 | 浅野秀剛(39期 大和文華館館長)                                                           | 「海外日本美術事情―浮世絵を中心に―」             |
| 2013 | 中田潤(35期 秋田県議会議員)                                                            | 「視点を変えてみませんか?」                  |
| 2014 | 加藤正人(42期 脚本家)                                                               | 「故郷を離れて想う故郷」                    |
| 2015 | 金子裕二(41期 グランビア代表取締役)                                                        | 「還暦をすぎて これからの夢」                 |
| 2016 | 納谷嘉彦(43期 ピアニスト、作曲家)                                                         | 「サムライ Jazzを語る」お話と演奏             |
| 2017 | 櫻田亨(53期 リュート奏者)                                                             | 「リュートと私」お話と演奏                   |
| 2018 | 持田訓(39期 小森コーポレーション社長)                                                       | 「印刷機械の発展と小森コーポレーションの取り組み」       |
| 2019 | 三浦基英(51期 サンクラ代表、三種町観光協会副会長)                                                 | 「DMOあきた白神ツーリズム ふるさとは何を指すのか?」    |
| 2022 | 小川孔輔(40期 法政大学名誉教授)                                                          | 「食の未来～食ビジネスを取り巻く機会と脅威～」         |
| 2023 | 金野鈴道(38期 尺八演奏家)                                                             | 「地球上最も簡素で最も芸術性の深い楽器、尺八の魅力」お話と演奏 |
| 2024 | 佐藤禎稔(45期 帯広畜産大学特任教授)                                                        | 「夢のロボットトラクタが食料生産の現場を変える」        |
| 2025 | 大石大(73期 小説家)                                                                | 「小説家という仕事」                      |
| 2026 | 鷲谷香明(54期 華道家)                                                               | 「花は語る。いけばなが伝える『見えないもの』」         |

## 2026年度(令和8年度) 能代高校東京同窓会総会・懇親会のご案内

【日時】2026年10月3日(土)

受付 12:00～

総会 12:20～

講演会 13:00～

懇親会 13:30～16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

【年会費】2,000円

\*世帯制割引:夫婦とも同窓生の場合は1世帯  
2,000円

\*新卒者特例(今年は第96期):1,000円

【懇親会費】8,000円

\*若者特例(第85期～第96期):無料(年会費のみ)

\*同伴家族:半額(4,000円)、小学生以下無料  
(年会費不要)

\*東京同窓会以外の同窓生、友人:懇親会費のみ  
(年会費不要)

◎各会費は当日受付にて受領します。

◎欠席の方は年会費をお振込ください。

【出欠】

\*QRコードを読み込んで、申し込み  
フォームから送信してください。

ホームページからも送信できます。

<https://shoryokenji.com>



\*ハガキが同封されている場合は9月23日(水)ま  
でに投函ください。

\*住所等の変更届けも、上記の申し込みフォームか  
ハガキをご利用ください。

◎未使用のハガキは当日会場で回収します。

●アルカディア市ヶ谷 アクセス

JR/地下鉄(有楽町線・南北線・都営新宿線)

市ヶ谷駅より徒歩3分

千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-9921

<https://www.arcadia-jp.org>



### 講演会

#### 「花は語る。いけばなが伝える 『見えないもの』」

講師：鷺谷香明さん(第54期)

大学時代のニュージーランドでのホームステイをきっかけにいけばなを始め、気付けば30年以上花と向き合い、師範最高位の草月流師範理事を拝命して日々活動しています。

自身でいけることも、人にいけばなを伝えて楽しんでもらえることにも喜びを感じています。いけばなは形を整える技術ではなく、花材の線や間が語る「見えないもの」を空間に表現する芸術です。

本講演では、その力と可能性をわかりやすくお伝えしつつ、短い実演も行います。



#### 《講師プロフィール》 わしや こうめい

華道家。本名、鷺谷明子(わしや あきこ)。

1965年能代市生まれ。能代第一中学校、能代高校、文教女子短期大学卒業。草月流師範理事、品川区華道茶道協会理事、草月流家元賞受賞。朝日新聞(東京版)「東京の専門家・プロをご紹介!」欄に掲載。草月展(日本橋高島屋)、いけばな協会展(新宿高島屋)、他多数出展。いけばな教室運営、ライブハウス等でライブいけばなを展開し、国内外にいけばなの魅力を伝えている。

#### 若手参加助成について

能代高校同窓会には「同窓会活動促進事業」があります。この制度により、若手同窓会員(30歳まで、今年は第85期～第96期)は同窓会本部からの助成金を利用し、懇親会費は無料とします(ただし懇親会費無料の適用は対象期間のうち一人2回まで)。

## 2025年度 総会・講演会・懇親会報告

2025年10月4日(土)、能代高校東京同窓会総会・懇親会がアルカディア市ヶ谷で開催されました。出席者は90名。来賓として、この年の母校の校長、平川研先生と本校同窓会の山本達行会長を能代から、また能代工業高校と大館鳳鳴高校の東京同窓会会長もお迎えしました。

能代高校創立100年という年にあたり、これを祝う気分があふれる会となりました。山本会長のご挨拶では、創立当時の経緯など貴重なお話を伺いました。

総会では、個人情報保護規程類の改定及び制定を含め、議案はすべて原案どおり承認されました。

講演会は「小説家という仕事」と題して、73期の大石大(本名:大石和大)さんが講師をつとめました。能代高校時代の山岳部のエピソードに始まり、小説家を志したいきさつ、能代への思いを込めた作品のことなど、興味深いお話でした。

懇親会では、平川先生から母校の近況をお話いただきました。歌や参加者からのお話などを楽しつつ、同期と再会を喜び、世代を超えて交流する様子が見られました。



主にミステリー小説を執筆し、これまで5作を刊行している大石大さん。

### 同窓生という読者

第73期 おおしだい 大石大  
(2025年度講演会講師、小説家)

表現を生業とする職業の中でも、小説家とお笑い芸人は対極に位置する存在ではないかとよく思う。

芸人ほど、自身の芸が相手を喜ばせられたかどうか瞬時にわかる仕事はほかにはない。面白かったら客席から割れんばかりの笑いが起こり、つまらなかったら重苦しい沈黙が場を支配する。だからこそ芸が受けたときの快感は何物にも代えがたく、失敗したときには深い傷を負うのだろう。

一方、小説家は、読者が自分の作品を読んでいる場面に出くわすことはほとんどない。仮にそういう機会があったとしても、よほど感極まりでもしない限り、読者が何を感じているかを察するのは至難の業だ。読者の反

応を知るにはせいぜいネットで感想を読むくらいのもので、生の声を直接聞くチャンスはめったにない。

その数少ない機会を、昨年の同窓会で得ることができた。

懇親会の際に、拙著を読んでくださった方々から声をかけていただいた。率直に褒めてくださった方もいれば、何気なく書いた一節を熱く語っていた方もいた。また、ほんとうに多くの方から温かい励ましの言葉をいただいた。

講演でも語ったことだが、小説家は孤独な仕事だ。たったひとりでパソコンに向き合う日々の中では、読者の存在を感じる機会めったにない。同窓会は、応援してくださる方々がたしかにいることを実感する貴重な機会となった。その励ましに少しでも応えられるよう、今日も原稿に向かっている。

## 2025年度(令和7年度)総会・懇親会の出席者(同年度会費納入者)

【26期】佐々木高博(二中)【27期】大村真陸郎(浜口)【29期】宮腰興紀(一中)【30期】熊谷幸夫(一中)【32期】笠原強(沢目)、高田政勝(一中)、高谷誠(深浦)【34期】鈴木弘光(二中)、西川廣正(東雲)【35期】平川徳道(一中)、干場革治(八森)【37期】今野廣隆(浅内)、若狭秀巳(森岳)【38期】菊地忠美(東雲)、佐藤能雅(東雲)、能登洋一\*(二中)【39期】大塚進(二中)、菅原渉(下岩川)、諸沢隆一(一中)、山本達行(富根、秋田県から参加)【40期】小林哲(東能代)、智田農(富根)、松岡明(金岡)【41期】大久保英生(二中)、小河範也(二中)、金子裕二(浜口)、原田税(浅内)、保坂俊\*(浅内)【42期】加藤正人(一中)、水澤秀夫\*(一中)【43期】菊池忠夫(藤里)、白木仁\*(八森)、須藤正喜(八森)【44期】庄内俊憲(八森)、渡辺隆幸\*(琴丘)【45期】鎌田泰宏(二中)、河田昌俊(一中)、小杉山乙矢(一中)、袴田邦夫(二中)、三浦洋(森岳)、港基樹(常盤)、山内繁\*(二中、秋田県から参加)、山谷めぐみ(二ツ井)、渡辺荘太郎\*(一中)【46期】秋林泰樹(二ツ井)、大塚晃(一中)、大山望(二中)、斉藤靖雄(沢目)、佐藤康准(一中)、吉田真由美(一中、旧姓工藤)【47期】五十嵐和雄(一中)、佐野輝彦(二中)、野村一哉(二中)、山田肇(一中)【48期】大黒規正(森岳)、小林金雄(東能代、秋田県から参加)、野村松信(檜山、秋田県から参加)、藤田幹也(二中)【49期】武田悟(東能代)【50期】伊川千良(藤里)、石井鉄美(一中)、佐藤孝也(一中)、簾内重和(二ツ井)、堀内学(二中)【51期】河田康史(檜山)【53期】梶原禎子(八竜)、工藤勉(琴丘)【54期】遠藤いぶき(東能代、旧姓畠山)、坂井絹子\*(一中、旧姓佐藤)、佐藤篤規(二中)、佐藤周之(一中)、佐藤弘孝(八竜)、戸嶋寛士\*(一中)、平川研(浅内、秋田県から参加)、鷲谷明子(一中)【55期】浅野敦志(東能代)、淡路和子(一中)、嶋田久美子(常盤、旧姓工藤)【58期】加藤一敏(檜山)【62期】大高忠勉(峰浜)【66期】高橋弘志(二ツ井)【67期】滝田祐作(一中)【69期】戸松大輔\*(能代東)【73期】大石和大\*(一中)【77期】山崎愛実(東雲)【85期】平川柊子\*(一中)、平沢正輝\*(八森)【89期】高崎皓太\*(能代南)

●同窓生出席88人 \*印は初参加者14人 (出身中学名は卒業当時の校名)

## 2025年度(令和7年度)総会 欠席しますと回答いただいた方と会費納入の方

【25期】栗原俊一、町田次男#【26期】伊藤倫子#【27期】石嶋喜直#、栗原優子、斎藤秀夫#、檜森寛、山田邦夫#【28期】須田正巳#【29期】越前谷孝臣#、笹木広澄、嶋田雄右#、塚本祝永#、宮腰瑞夫#【30期】田中勝美#、宮腰七郎【31期】小田幸雄#、高松和夫#、馬場富男#【32期】杉江昭宏、田中正敏#、森田弘【33期】金田英成#、清水靖子#、清野勝子#、堀内忠人#【34期】斎藤彰悟#、棚橋東峰#、畠山昇#、米山満【35期】石山眞#、恩田恒美、金子永喜#、横田眞理子【36期】智田慎正#、細田静夫#【37期】小野津世子#、小杉山久晴、小松義明#、梨本主税#【38期】赤塚剛#、荒川久敏#、市川正敏#、伊藤陽一、工藤博幸#、金野正道#、佐藤春香#、佐藤則男#、戸松伸一#、成田正廣#、福田満男#【39期】金野峻明#、田村猛#、直嶋博明#、持田訓#【40期】小川孔輔#、北田実#、熊澤朝子#、小松文明#、高橋博美#、武田清悦#、平澤知明#、増田春樹#【41期】瀬川公平、田中亨#、水木秀範#【42期】工藤長彦、山柄一庫【43期】石塚信一#、五代儀彦秀#、北林博敏、工藤富雄、幸坂和彦#、高橋敦子#、福岡武#【44期】武石栄伸#、森岡雅信、山崎友久#、渡辺光一【45期】相澤正和#、井上清起#、大塚雄蔵#、加藤秀樹#、金子豊#、高松武史#、長江妥貴子、原田康男#、平野信任#、真崎裕【46期】佐々木恵、清水文彦#、平川尚#、鷲谷太郎#【47期】出雲政弘、越中谷真喜#、大久保昭佳#、大槻務#、腰山達哉#、本庄清康#【48期】安濃純#、小嶋覚#、加藤之#、北林蒔子#、佐藤公樹#、野島美季子【49期】大塚聡子#、片谷浩之、近藤敏仁#、今野泰則、佐藤互#、田村智昭、田村盛仁#【50期】大塚大#、佐原貴光、鈴木裕子#、村井清蔵【51期】川口行彦#、工藤治#、袴田亘#、平塚佐智子#、平塚征悦#、萬寶通子、村田祐子#、安田勉#【52期】井瀧正彦#【53期】男鹿谷修#、堀内博司#、吉田順【54期】今佐都美、斎藤伸一、三浦佳奈子【55期】伊藤広一#、大山顕#【56期】高橋善宏、部村由美子#【59期】畠山真吾#、渡辺浩誠【60期】村木拓夫#、安井正彦【63期】長岡貴博#【67期】小野立【68期】大塚さと子【73期】柿崎誠【80期】菊地隆秀

●#印は会費納入の方(年会費世帯割引の適用者2組はそれぞれ2名の名前を掲載)

## 亡くなられたとお知らせいただいた方

19期 大塚哲郎(2020年1月) 26期 畠山信孝(2024年5月) 27期 若松正雄(2025年5月) 32期 吉岡良隆(2024年12月) 38期 大塚健三(2025年9月)、豊嶋誠(2025年7月) ( )内は逝去された年月

謹んでご冥福をお祈りいたします。

※このページは敬称を略しました。

## 能 高 生 だ よ り

### ～松陵の誇りを胸に、さらなる高みへ！～

体操部 男子主将 3年 加藤陽翔

放送部 3年 小林瑠奈

私は現在、インターハイでの決勝進出という目標に向かって、日々の練習に励んでいます。先んじて行われた全県総体では、個人総合1位に加え、種目別の床、吊り輪、跳馬、平行棒で優勝を果たすことができました。しかし、内容としてはミスも多く、体力不足や練習不足の技があるなど、多くの課題が見つかる大会となりました。その後、これらの課題改善に集中して取り組み、東北大会に臨みました。結果、個人総合で4位、種目別では吊り輪と跳馬で1位、鉄棒で3位という成績を収めることができました。東北大会という大舞台で1位を獲得した経験はこれまでになく、自分の成長を確かに実感でき、非常に嬉しく思っています。しかし、目標であるインターハイでの個人総合、または種目別での決勝進出を果たすためには、まだ解決すべき課題が2つあります。1つ目は着地の精度をあげることです。すべての種目において演技を締めくくる着地は、わずかな乱れが命取りになります。ここをおろそかにしては、インターハイで点数を伸ばすことはできません。特に、得意種目である床と跳馬の着地には徹底的にこだわりたいと考えています。2つ目の課題は、苦手種目である平行棒と鉄棒での目標点数に届かないことです。完成度は上がってきましたが、難しい技を入れていません。Dスコアの高い技をやったうえで、完璧な演技を目指したいです。

東北大会での自信を胸に、残された期間でさらなる完成度を追求し、必ずインターハイ決勝の舞台に立ちたいです。



写真前列向かって右から2番目が加藤さん

この度、NHK杯全国放送コンテストに朗読部門で出場させていただきます。昨年は秋田県予選敗退という悔しい結果で終わってしまいましたが、その悔しさと部員のみんなとの日々の活動があったことでここまで頑張ることができました。昨年から、放送部の活動を活発にしたことで放送の機会も増え、放送を聞いてもらう機会が多くなったため、恥ずかしい放送はできない、と練習に熱が入ったのを覚えています。大会練習では、部員や友達、講師の先生に何度も朗読を聞いてもらい、細かいところを直したり、聞きやすいスピードを意識したりと考えることがたくさんあり、挫折そうになりました。しかし、仲間たちの支えがあったことで、本番では前を向いて、正々堂々と朗読をすることができました。

次の相手は全国です。レベルが一段と高くなり、今のままでは通じないと思っています。これからの練習に一層熱を入れて、最後までリラックスして発表をしたいと思います。

いつも放送部を支えてくださり本当にありがとうございます。応援してくださるすべての方々、顧問の先生そして部員のみんなの気持ちを背負って、最高の朗読を全国に届けてきます。最後まで応援をよろしくお願いします。

(いずれも7月上旬執筆)



# 会 員 だ よ り

## 中高生時代に将来を決めた音楽

第 34 期 鈴木弘光

能代の樽子山で生まれ育ちました。能代高校のすぐ近くでした。子供の頃、校門横の広場(砂場)で近所の子供たちとボール投げをしたりして遊びました。また、テニス・コートの周りの土手では、松の木の下に椅子を持ち込んで夕涼みをしたものです。

さて、皆さん、トリオ・ロス・パンチョス(Trio Los Panchos)を知ってますか?憶えてますか?

昭和30年代、私が中高生の頃、能代の自宅の真空管ラジオで、文化放送の『S盤アワー』等でニール・セダカやポール・アンカ、ブラザーズ・フォー等、アメリカン・ポップスを好んで聞いていました(三橋美智也、島倉千代子等の演歌もですが)。そんなある時、ラジオから聞き慣れないスペイン語のトリオの素晴らしいコーラスが流れてきました。ギターだけの弾き語り、レキント・ギターが素晴らしい!!それがメキシコのトリオ・ロス・パンチョスでした。「ベサメ・ムーチョ」「ある恋の物語」「キサス・キサス・キサス」等々。これが私の将来を決めました!

大学でスペイン語を専攻し、スペインや中南米の文化歴史を学び、レキント・ギターを独学で習得し(ついでにフラメンコ・ギターも)、仲間を得てラテン音楽活動を続けることができました。学生時代のアルバイトで、ホテルニューオータニの最上階回転レストランで演奏していたこともあります。



2025年の東京同窓会・総会より。報告や議案の審議が行なわれます。議長は高橋弘志さん(第66期)。

高校生の頃は、ギターを持って街を歩いていると不良と思われていた時代でした。が、なかよし仲間とギターを持って柳町の喫茶店で待ち合わせをして練習していました。2年生の3学期に卒業生を送る講堂で仲間と演奏したことが懐かしき思い出されます。

## 藤原六郎先生を偲んで出席した 今年の東京同窓会

第 45 期 渡辺荘太郎

大変恥ずかしいことですが、能代高校在学中の成績は赤点だらけで再試験の連続でした。それでも大学進学を希望したことから担任の藤原六郎先生にその理由を聞かれました。開業医の家柄、両親や親せきから医学部を受験すると思われていましたが、子供のころから絵を描くことが大好きで、美術・芸術系に進みたかったため、また、血を見ると卒倒することもあり、医学部を受験できないよ



SEVEN SEALS

株式会社 SEVEN SEALS

〒220-8131  
神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-2-1  
横浜ランドマークタワー 31F  
Tel.045-228-9310

物流ネットワークの  
詳細はコチラ



代表取締役 谷内孝悦  
代表取締役 庄賀亮子



HOTEL  
7's anchorage  
能代

〒016-0843  
秋田県能代市中和 1-17-13  
Tel.0185-74-5930

ホテル併設レストラン



RESTAURANT  
7's knot

※ディナーは予約制となっております

代表者 谷内悠葵(ゆうき)  
創業者 谷内孝悦(能代一中出身)

ホテルの詳細  
ご予約はコチラ



うに、あえて勉強しなかったことを伝えました。

まもなく藤原先生から、入学試験の無い学校推薦枠の中で、私の好きな美術・芸術系の学部がある大学を探していただき、建築系の学科がある大学に推薦入学できました。その後のアメリカ留学や一人前の建築家を目指すことができたのも、ひとえに藤原六郎先生のおかげであり、感謝してもしきれないほどです。

2011年に45期・49期合同の藤原先生を囲んだ東京同窓会がありました。海外出張中でしたので参加できず、その後、藤原先生がお亡くなりになったと聞きました。生前にお会いして感謝を伝えることができなかったことを悔やみましたが、藤原先生を囲んだ東京同窓会に出席した同級生の方々からその時のことをお聞きしたかったことが、昨年の東京同窓会・総会に参加するきっかけになりました。



2025年の総会出席者のうち最も多かった期は第45期。9人が同じテーブルを囲みました。

## 能代との新たなつながりの場

第85期 平川 柊子

昨年、何気なく見ていたバラエティ番組に母校の体育館が映っているのを見つけ、懐かしい気持ちになりました。その後、母校のホームページを訪れた際に東京同窓会の存在を知り、総会に初めて参加させていただきました。少し緊張しながらの参加でしたが、皆さまに温かく迎えていただき、懐かしい地元の話に花が咲き、とても楽しい時間を過ごすことができました。久しぶりに故郷を身近に感じ、「やっぱり地元っていいな」と改めて感じたひとときでもありました。

私は大学進学を機に上京し、それ以来東京で



懇親会より、初参加者紹介の場面。2025年は初参加が14人と例年より多く、うち3人が20代でした。

生活しています。コロナ禍も重なり、ここ数年はなかなか能代へ帰ることができませんでした。年齢を重ねるにつれて、地元に残っている友人も少なくなり、故郷との関わりを持つ機会も以前より減ってきたように感じます。もちろん能代を離れて暮らしていても、故郷への思いが薄れたわけではありません。むしろ離れているからこそ、その大切さを実感することが増えました。

東京同窓会は、そんな私に能代との新たなつながりを与えてくれる貴重な場となっています。今後は同窓会を通じて交流を深めるとともに、微力ながら故郷に貢献できることを見つけていきたいと思っています。

## 思い出の十里強歩が幕を下ろす

第85期 平沢正輝

この度は同窓会報に寄稿の機会をいただきまして、ありがとうございます。2025年に能代高校東京同窓会の総会に初めて参加してから、早くも1年が経とうとしております。会場を訪れるまでは緊張でいっぱいでしたが、会が始まると「ここにいる人はみんな能代高校出身なんだ」という安心



恒例の校歌斉唱。手前は懇親会の司会を無事に終えて安堵の表情で歌う伊川千良さん(第50期)。



高田政勝さん(第32期)が音頭を取って万歳三唱。2025年の懇親会がお開きとなりました。

感で、あることないことを数多くお話してしまった記憶があります。

在学当時の思い出は数多くありますが、真っ先に思い浮かぶのは十里強歩のことです。夜遅くから、自分は今何キロ走ったのかわからぬまま走り続けるイベントなのですが、途中の休憩所で提供されるおにぎりや、季節の果物がとにかく美味しかった記憶があります。

仕事柄ニュースをよく見ているのですが、先日、十里強歩がその長い歴史に幕を下ろすという北羽新報の記事を拝見しました。近年頻発するクマの出没と、生徒数の減少が主な理由と伺っています。自分も入学時から3年間走り続けた思い出のイベントが、このような形で幕を下ろすことになるなんて思いもしていませんでした。

勤務先にも能代高校OBの先輩がいるのですが、ニュースを見た次の日だけはその先輩と在学当時の思い出を語り合うこととなりました。

さて、どの年代にも名物先生と呼ばれる方は多くいらっしゃると思いますが、私がもっとも印象に残っているのは数学の石井先生、現代社会を教えていた今畠先生でした。今はお二人とも別の学校に移られたと伺っています。ぜひまたお会いしたいですね。



野外活動同好会では昨年12月6日になべっこ遠足を開催。きりたんぽとたまこのハイブリッドを楽しみました。

## 東京同窓会の同好会

東京同窓会には現在、以下の同好会があります。参加希望や新たな同好会の提案などは事務局へご連絡ください。

### ◇野外活動同好会

葛西臨海公園でバーベキュー等を楽しんでいるグループです。昨年12月にはなべっこ遠足を開催しました。平塚征悦さん(第51期)が場所を確保してくれ、買出し部隊が朝一に食料調達するので、参加費用は自分の飲み物と公園利用料程度です。次回開催が決まったら東京同窓会ホームページに掲載します。代表:石井鉄美(第50期)

### ◇能高五日会

若手同窓生(第45期以下)の親睦と交流を目的にした懇親会を開催。FacebookやLINEにグループがあります。代表:高橋弘志(第66期)

### ◇能球会

東京近郊のコースでゴルフを楽しんでいます。前回は4月23日に浦和ゴルフクラブで開催しました。次回は今年10月22日(木)に東京ベイサイドゴルフコースで予定しています。代表:石井鉄美

### ◇能高釣クラブ

自然を満喫しながら、溪流釣を楽しみます。代表:小河範也(第41期)

### ◇東京探訪の会

日常はあまり触れることのない「東京」を訪ね、約2時間のコースを散策します。代表:吉田真由美(第46期)

### ◇能高バスケの会

能代カップ等の観戦、本校バスケットボール部やOB会との交流など。代表:片谷浩之(第49期)

企業・個人のお困りごと  
お気軽にご相談ください



弁 護 士 法 人  
**A K 法律事務所**

弁護士 野村信之

第二東京弁護士会所属

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町2-7

協販ビル7階

TEL: 03-3518-2233

FAX: 03-3292-0234

Email: nomura@aklaw.jp

URL: <https://aklaw.jp>

## 2026年度(令和8年度)収支決算報告書(2025年8月1日～2026年7月31日)

| 収 入 の 部 |           |           | 支 出 の 部   |           |           |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 項 目     | 予 算       | 決 算       | 項 目       | 予 算       | 決 算       |
| 総 会 収 入 | 780,000   | 741,000   | 総 会 費     | 1,059,000 | 1,009,978 |
| 会 費 収 入 | 390,000   | 372,000   | 組 織 拡 張 費 | 60,100    | 27,500    |
| 雑 収 入   | 70,400    | 83,073    | 一 般 管 理 費 | 121,300   | 70,760    |
| 当期収入合計  | 1,240,400 | 1,196,073 | 当期支出合計    | 1,240,400 | 1,108,238 |
|         |           |           | 当 期 収 支   | 0         | 87,835    |
|         |           |           | 前年度繰越金    | 1,141,187 | 1,141,187 |
|         |           |           | 翌年度繰越金    | 1,141,187 | 1,229,022 |

■同年度の収入には、次の同窓生からの寄付金が含まれています。ありがとうございました。【40期】 智田農  
★会報には簡易版を掲載しています。東京同窓会ホームページでは詳細をご覧いただけます。

## 【会費納入のお願い】

会員の皆様から納入いただいている年会費は主に会報の発行と、総会開催に掛かる費用に充当されています。

今後とも納入にご協力をお願いいたします。

●年会費は2,000円です。

以下の納入方法があります。

①郵便振替払込(手数料は同窓会が負担)

会報に同封した赤色の用紙をご利用のうえ、窓口またはATMで払い込みをしてください。

②ゆうちょ銀行へ振込

下記「年会費振込先」の口座へお振り込みください。振込手数料はご負担願います。

ゆうちょダイレクトをご利用の方は、手数料が無料になるサービスがあります。

③総会の会場で納入

出席の方は受付で現金をお預かりします。

●年会費振込先

◇郵便払込口座番号 00150-7-27459

加入者名 能代高校東京同窓会

◇ゆうちょ銀行 〇一八(ゼロイチハチ)支店

普通預金 5914261

名義 能代高校東京同窓会

## 【広告のお申し込みについて】

■能代高校東京同窓会の会報『松陵健児』および東京同窓会ホームページへの広告を募集しています。会社やお店、商品など、広告の掲載をご希望の方はEメールで詳細をお問い合わせください。

また、その他のご連絡もEメールでお送りくださいますよう、お願いいたします。

NoshiroHTR@gmail.com



東京・大阪で選ばれる  
質の高い在宅ケアサービス

介護・看護・リハビリ・ケアマネ・福祉用具・デイサービスを  
ワンストップで！

株式会社グッドライフケア  
TEL 03-3537-0790(代表)  
東京都中央区新川1-28-38  
東京ダイヤビルディング2号館11階

GOOD  
LIFE  
CARE

## 【ご寄付のお願い】

東京同窓会の活動をさらに充実させるために皆様からのご寄付をお願い申し上げます。

年会費納入の際に払込用紙の金額を訂正してお送りいただくか、上記ゆうちょ銀行への振込、総会の受付でも承っております。

## 松陵健児

能代高校東京同窓会 会報 第36号

発行日 2026年9月1日

発行 能代高校東京同窓会

発行責任者 吉田真由美

編集 会報誌グループ

印刷 株式会社 毎栄

■能代高校東京同窓会事務局

E-mail: NoshiroHTR@gmail.com

Website: https://shoryokenji.com



ホームページ

## 湯島で同窓生に会える店



あぐ・雲飾料理

上野 きくち

通算43期(新制25期) 菊池 忠夫 白神山地(藤里町)出身



千代田線湯島駅6番出口  
徒歩1分

(大手町から北千住へ向かって最後方出口)

東京都台東区上野1-12-2  
亀田ビル 1F 〒110-0005

ご予約をおすすめします

03-3839-3382